

令和6年度 全国いじめ問題子供サミット 中学3名 参加「いじめを生まない環境づくり」

1月25日 文部科学省 講堂、いじめ問題について全国の小中学生が話し合うサミットへ本校の中3生2名、中1生1名が参加しました(全国都道府県、政令指定都市代表69校、小学生32名、中学生120名、文部科学省主催)。

正面玄関前、朝寒い中、せっかくきたのだからと記念写真を撮りました(写真①)。講堂の開場を待つ間、本校のいじめ防止活動についてのポスター発表に向け最終確認をしました。開場10時が近づくと全国から模造紙と旅行鞆を持つ児童生徒が集まってきました。

午前は全国各地のいじめ防止の取組みについてのポスター発表(写真②)、午後は、なだぎ武氏によるいじめ被害体験談(写真③)があり、その後グループに分かれ、いじめ問題について話し合いました(写真④)。

さいごに、いじめを生まない環境づくりについて各グループによる提言(「NIHON いじめ0宣言 N:ニコニコ笑顔を意識しよう I:一回立ち止まろう H:一人を作らないようにしよう O:大人にも相談しよう N:何よりも仲間を大切にしよう」「あみだくじがっこう:あいさつ 認め合う 団結 比べない 自分を大切に 我慢しない つながり大切に 個性を大事に 生まないいじめを」「一人じゃない 助けはいつも そばにある」など、下記参照。)が行われました。提言発表の全体交流会の司会を本校3名も積極的に務めました(写真⑤打合せ様子)。他校の取組を知ることができ貴重な経験となりました。

サミットの詳しい様子を知りたい方は、⇒PDFをご覧ください。

なだぎ武氏のお話は、TBS NEWS DIG Powered by JNN サイトで視聴することができます。

⇒ https://www.youtube.com/watch?v=u_3pGsQmVj0 (1月26日現在)

開会では、阿部俊子文部科学大臣が参加児童生徒に向けて「いじめについて、大人もいじめ防止に取組みますが、児童・生徒の皆さんも、いじめ防止に取り組んでほしい」などとお話をくださいました。午前は、参加校が大きく2つに分かれ、ポスター発表をするグループと、発表を聞いて、質問するグループに分かれ自校以外のいじめ防止の取組みの具体策を知ることができました。午後はゲスト体験談、グループ協議、全体交流が行われました。ゲスト体験談では、タレントで学生時代にいじめられた経験を持つ、なだぎ武さんから、いじめを受け自宅にひきこもり、その後の体験談が語られました。内容は、引きこもりの頃、邦画「男はつらいよ」を視聴し、17歳でひとり旅に出て、広島で旅館の方に助けられたときの話し。その時、旅館の方々が同じ目線で話してくれて、なだぎさんが「お世話になったので何か手伝いたい」と伝えたところ、「そうしたら旅館のことを手伝って」と、一人の人間として接してくれたこと。また旅館の方々と笑って食事をしている時に、涙があふれ「そんなに俺の作った賄は旨いのか」と料理長に言われたことなどが語られ、なだぎさんは、このような経験から「人と人の触れ合いの大切さ」に気づかされ、その後吉本興業に進み、芸能の道へ、R-1グランプリで優勝までできたことを語ってくれました。

グループ協議では、SNSでのトラブルや人間関係で悩んだときに友達、先生、保護者に相談できる関係づくりのために、またいじめが起こらないようにするために何ができるか、を協議しました。22のグループは協議を踏まえ、いじめを生まない環境づくりのためのメッセージを作り、それを全体で発表し各グループのメッセージを共有し、子供サミットはまとめられました。子供サミットの講評として、なだぎ武氏は「いじめはなくならないという皆さんの本日の言葉。それは昆虫でも、魚でもいじめはあるから。それでもこうして話し合おうという皆さんの姿勢、その大切さが伝わってきました。つらい過去や悲しい過去。過去は変えられないと言うけれど、確かに事実は変えられないけど、辛い時期を振り返ったときに今に繋がっている、と前向きに考えること、そのように思っています」と語ってくださいました。

【各グループによる標語・メッセージ】

- ・「～つなげよう 人と人の輪～」
- ・「NIHON いじめ0宣言」
N：ニコニコ笑顔を意識しよう
I：一回立ち止まろう
H：一人を作らないようにしよう
O：大人にも相談しよう
N：何よりも仲間を大切にしよう
- ・「みんなでつなぐ思いやりの糸」
- ・「認めよう宣言」
- ・「こふんあいす」
コミュニケーション 雰囲気 人からの愛
- ・「抱えこまんでええんやで」
～共生 切り替え 信頼～
- ・「あみだくじがっこう」
あいさつ 認め合う 団結 比べない
自分を大切に
我慢しない つながりを大切に
個性を大事に 生まないいじめを
- ・「ひとり、いいとこ、
いじめ 見逃しませ宣言」
- ・「いじめを無くす五か条」
1. まず肯定 否定はせずに受け入れる
2. 素直 オープン 伝えよう
3. 信じてみよう 相手のこと
4. 「こんちくわ」
こんなんでもあいさつよ
5. 一人じゃない みんながいるよ
- ・「おはなし 目指せいじめゼロに」
お互いに 話しあい 仲間として
信頼を築こう
- ・「一人じゃない 助けはいつも そばにある」
- ・「一人じゃない みんなで気付くよ SOS」
- ・「モヤモヤを 相手に伝え はきだそう」
「自分ごと 気づいたのなら 会話しよう」
『どうしたの』 友達思いの愛言葉
- ・「いじめをなくす」
いつでも相談 自分だけで悩みこまない
目を合わせてあいさつ
仲間とコミュニケーション
くじけそうになったら スタンドアップ

- ・「周りみて 解決法は
無限ダイ ポジティブ思考で 歩こうよ」
- ・「一人で悩まないで
～本音を言葉にする勇気～」
- ・「一期一会の出会いを大切に
柔らかな関係を広げよう
～一人ぼっちを作らない～」
- ・「3つのO(オー)でいじめ0(ゼロ)」
かかわろう 認めよう 伝えよう
- ・「ありがとう 言葉で広げる 笑顔の輪
皆で作る 心のおうち」
- ・「一人じゃないから
～いじめはなくならなくても
私たちは話し合い続ける～」
- ・「ありがとう」
ありがとうを伝えよう
理解しよう
学校で安心できる雰囲気づくりをしよう
ともだちの変化に気付こう
こうどう 発言する前に一度考えよう
- ・勇気の宣言
「手を差し出す3つの勇気にありがとう」いじめ
に関心をもち他の人の勇気に触れる
いじめ防止を呼び掛ける勇気
いじめを止める勇気
(いじめに対し止めに入ることはなかなか難しい
それでも止めに入ってくれた人、またそのような
場面で助けられた人がこの場で勇気について語
ってくれる、それらの勇気に対してありがとうと
いう気持ちを込めたメッセージです)
- ・「イス宣言～いじめ0 ストレス0～」
いじめにはいろいろありますが、ストレスが溜ま
ってしまうかもしれません。椅子は4本の脚で支
えられています。皆さんも他人を支える4本にな
って、いじめ0、ストレス0にしていきたいと思いますか。

